

一般質問発言通告要旨

通告者 1番 佐藤大成

1. 合宿誘致を推進せよ

豊かなスポーツ環境と宿泊体制を持つ仙北市においては、合宿誘致の強化が市経済の活性化に大きく貢献すると考えている。市当局には以下の5点を伺う。

- (1) 昨年度の合宿実績と市当局の合宿誘致に関する認識。
- (2) 本年度の合宿応援事業はどのようなものか。
- (3) 高校生以上のアスリート対象の合宿の目標誘致数はあるか。
- (4) 誘致においては、ある競技に特化し、熱心な誘致活動を行い、充実した練習環境を整えている自治体が成功している。現在の仙北市には、モーグルや野球、陸上長距離、カヌーがふさわしいと考えるがどうか。
- (5) 一番重要なことは、どのように誘致活動を行うかである。具体的な活動計画はあるのか。

また、誘致活動においては地縁・人縁を最大限活用しなければならない。例えば、仙北市出身で箱根駅伝に出場し、現在では女子実業団陸上部のコーチをしている人がいる。そういった人達の存在をそもそも把握しているのか。

2. 決算説明資料の充実を

昨年会派で視察した北海道新冠町では、決算説明資料に事業の概要、実績及び効果に加えて、事業の課題・評価、改善・改革、今後の事業展開の項目が示されている。今後は議論において、PDCAサイクルを軸にした政策評価・検証が行われるが、今の資料では議員に対して十分な情報提供はなされていない。

決算説明資料の改善並びに充実を求めるが、市当局の見解は。

3. 市内中学校の統合に向けて

今回の質問で3回目になるが、生徒数の減少予測も示され、有識者の会議を経て、今後は望ましい統合の在り方が本格的に議論されると思う。今回の質問では、最重要課題として掲げている学校統合の議論の状況、今後の展望を伺い、提言を行う。

- (1) 総合教育会議の学校統合に関する議論は、どのようなものであったか。
- (2) 中学校が抱えるデメリットを解消する方法は見出せたのか。
- (3) 今後統合に向けての議論・調査の具体的なスケジュールは決まっているのか。
- (4) 前回の質問で、市長は「局地的統合が望ましい」と答弁している。しかしながら、現在の市内の生徒数を考慮すると、統合によって一時的には生徒数が増えても、地域によっては、数年後に統合前の人数に戻ってしまうことが容易に想定される。

文部科学省が『学校統廃合の新「手引」』を各教育委員会に通知して1年になり、現在では、バスで75分以上の通学も珍しくない状況である。改めて提案するが、3～5年計画で段階的に、市内中学校は1つにした方が良いのではないかと。

4. ドローン競技会をどう産業振興に結びつけるのか。

地方創生特区を活用し、ドローン競技会が今年の7月に開催される。市当局は競技会を絶好のアピールの機会と強く認識し、企業誘致に励まなければならない。だが、昨今の市当局の誘致活動をみると不安を感じずにはいられない。

市当局には、以下の4点を伺う。

- (1) ドローン競技会の概要
- (2) 企業誘致に成功している自治体のやり方を研究し、実践しているのか。
- (3) 企業誘致活動の具体的な計画
- (4) 企業が進出を検討するような材料を準備できるのか。

一般質問発言通告要旨

通告者 11番 荒木田 俊一

1. 株式会社司食品工業誘致について

- (1) 昨年12月24日の議事録に、滝本社長の署名はいただいたのか。
- (2) 終了したのであれば、議事録は議会に提出できるのか。
- (3) 今回の企業誘致活動は断念したと判断してよいのか。
- (4) 造成した跡地活用策について、秋田銀行が全力を傾注するとの発言が先の臨時議会であったが、主体者としての発言は無かったが、どう捉えているのか。
- (5) これまで、両者間で本当の信頼関係が構築できていたのか。
- (6) これまで、議会に対し、提案や説明をしてきたのは何であったのか。
- (7) 議会からの「企業誘致の早期実現を求める決議」を、どう受け止めていたのか。
- (8) 基本計画案では、今後5年間で、5社の目標値としているが、基本的な戦略はあるのか。

2. 教育について

- (1) 角館小学校の放課後児童クラブについて
 - ① 学校内に設置することができないのか。
 - ② できないとすれば、もっと近いところにできないのか。
 - ③ 現在の場所の移動について、時間的な問題と、安全面の不安が出ているが、スマイルバス等の利用は出来ないのか。
- (2) 角館小学校のプールについて
 - ① プールの水質は、基準を満たしているのか。また、どのような検査体制をしているのか。
 - ② 昨年、「匂いがして嫌だ」との声を聞いたが、学校から、そのような報告等があったのか。
 - ③ 浄水機等は配備されているのか、あるとすれば管理体制は。
 - ④ 他の学校のプールにおいては、問題が無いか。

3. 神代地区の水道未普及地区への今後の対応策について

- (1) 水源の確保について
- (2) 計画の作成、事業実施の見通しについて
- (3) 総合計画への位置づけについて

一般質問発言通告要旨

通告者 12番 安藤 武

市政の課題について伺う。

1. 医療

(1) 田沢湖病院は危機的状況から脱出できるのか。

- ①医療体制の整備は大事であるが、それができないから今があるのではないか。
- ②基準外繰入で経営改善の本気度が見えない。
- ③医療連携の形が見えないのはなぜか。

(2) 神代診療所の医師確保はできるのか。

- ①所長の医療にかける熱意を当局、両院長は、どう受けとめているか。
- ②在宅医療が断たれ、包括支援センターの見解は。
- ③医師確保が難しい中、決断した理由は。
- ④公募と両病院長と協議中とあるが、その反応は。

2. 企業誘致

(1) 司食品の企業進出は、現状では難しい、との社長の見解は、どういうものなのか。

- (2) 覚書の有効期限は過ぎたが、法的手段に出た場合の効果はどうか。
- (3) 進出できない場合は、「市長の責任だ」とした市長の見解は生きているのか。
- (4) およそ2億5千万円の執行額を、市民にどう説明するのか。

3. 国道46号線の迂回

柴倉林道（市道）の活用が現実的ではないか。

一般質問発言通告要旨

通告者 16番 八 柳 良太郎

1. さくら祭りについて

- (1) 本年の桜まつりの期間と桜の開花は、いつになりそうか。
- (2) 祭りの開催日は、そのままでもプレイベント、若しくはアフターイベントができるように、準備しておく必要はないか。
- (3) 角館の場合、通過型、若しくは短時間型観光ということなので、滞在時間延長の為に、飲食時間を延ばすと同時に、高単価商品を提供する必要がある。
夢牧場の黒毛和牛を割安に提供する考えはないか。来街者には、町の数ヶ所で事前に券を販売する。運転免許証、若しくは健康保険証提示で身元確認し、販売できるようにする方法はどうか。
- (4) 表町、小人町、桜美町付近に流れてくるにの理由の原因を把握し、対策を講じ、流れないようにする。
- (5) 桧木内川沿いの国名勝指定の桜について、次世代の桜を植える準備が必要ではないか。幹が裂けている桜が多くなっている。
- (6) 古城山については、地域運営体が整備し、活用したいとの申し入れがあり、都市整備課を中心に、地域センター、農山村活性化、観光課も含めて、話し合い(27. 11. 18 於：角館庁舎)あり。公園の整備、山の保全、観光対策も含め、私が前回提案したスロープカーを真剣に考えてみたらどうか。

2. 角館祭りのやま行事について

「おまつり実行委員会」は、昨年の死亡事故を受け、今まで先送りされてきた様々な課題に直面している。今回は、基本的問題のみ答弁をいただきたい。

伝統行事ではあるが、観光に協力してもらいたい、と曳山責任者会議に要請があったのが、私の記憶では、昭和50年頃と記憶しているので、長い間かけて、観光行事になってきていることは確かである。

しかしながら、現在、祭りは、神明社・薬師堂についたものであるから、張り番関係者には、観光は関係ない、という人が多い。

若者の中では、自分達が楽しければそれでいい、という声も大きい。市外からくるメディアの方々や、写真家の方々には、「この町の祭りは、他からくる人には興味ないもんね」とあきれられているし、外からは、概ねこのような評価になっている。

- (1) 伝統行事の祭りとして、存続を考えているのか、観光行事も含めての祭りであるのか。
- (2) それを踏まえた上で、危機管理も含めて、今までの実行委員会のあり方でいいのか。誰が危機管理の責任を持つのか。

3. 産業振興について

(1) 立町ポケットパークの活用について

公費が投入されているポケットパークに出店希望がある。

新規出店の要望に沿う必要があるのではないか。

活用してない時間帯等を、それらにまわす考えはないか。

(2) 産業振興基本条例について

市内の事業者は 27 年 3 月末で 1,552 事業者が存在する。

産業振興条例が整備されたが、まだ本領が発揮されていない。

第 1 条 この条例は、仙北市における産業振興に関する基本事項を定め、その振興に関する施策を総合的に推進することにより、事業者の自主的な経営意欲を助長するとともに、その経営基盤の強化を図り、もって市民生活の向上、活力ある地域経済及び環境と調和した永続性のある地域社会の実現に寄与することを目的とする。

第 4 条 市は、第 1 条の目的を達成するため、国、県及びその他の地方公共団体並びに経済関係団体との連携を図りつつ、事業者の自主性を尊重し、産業振興に関する施策を推進しなければならない。

2 市は、施策の実施にあたっては、事業者及び市民から意見を聴取するとともに、事業者の状況を的確に把握し、その実施のために必要な施策及び、財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

急速に迫る人口減少時代に対処するため、新商品開発、店舗改装、設備の更新等事業拡大の意欲について、全事業者に事業拡大のアンケートを実施すべきと考えるがどうか。

(3) 誘致企業の目新しさにばかり気を取られないで進むべきである。

2 億円を超える大枚の公費を投入したが、空振りに終わった。が、その原因はなにか。早くに引き返せたと思うが、いつだったのか、どんな状況の時か。

4. 病院経営と患者サービスについて

病院建設が着々と進められており、誠に喜ばしいことであるが、一方で、新設の病院の経営状況に対し、不安の声も寄せられている。患者サービスについても、苦情の話が絶えない。事の善悪は別にして、議会全員と病院経営者との話の場を持ってもらいたいがどうか。市長、担当部交えて。

一般質問発言通告要旨

通告者 5番 平岡裕子

1. 更なる子育て支援の充実をめざして

(1) 社会福祉法人はなさき仙北と教育・保育施設の運営について

市では法人化に向け昨年4月より準備を着々と進め、10月には法人の立ち上げまもなく運営が始まります。市の教育・保育施設は、市が直接管理、他法人への委託、法人経営・地域型保育事業と多種になり、今後の進め方が、より重要になると思われ
ます。

そこで、伺います。

① 平成28年度の園児の全施設の入園状況について

② 受け入れと全施設の状況について

③ はなさき仙北の概要について

事務協体制

認定こども園2園の運営について

予算概要・職員体制など

④ 認定こども園の経営移譲・施設譲渡の進捗状況について

(2) 保育料の助成について

市では、一定の所得に応じて、第2子から無料化すると公表しました。第1子の子
育て支援が充実してこそ、第2子の誕生につながると思うのですが、検討をされたの
でしょうか。

(3) 予防接種事業について

予防接種は、子どもが罹患時の負担軽減と親の経済負担軽減、市財政の医療費の抑
制にもつながります。おたふくかぜ・インフルエンザの一部助成は評価できますが、
年齢を6歳児就学前に区切ることに疑問をもちます。就学後高校生まで広げてこそ効
果があり、歓迎されると思いますが、見解を伺います。

乳児期にかかるロタウイルスは、乳児の生命の危機にかかわります。先の質問でも
取り上げました。再度検討されてはいかがでしょうか。

2. 補正具補助の検討を

今、がんに罹患する確率は2人に一人といわれ、がんで亡くなるのは3人に一人とい
われています。抗がん剤治療を受ける女性や、外傷など他の疾患でも、女性の悩みは男
性と比べハンディも多く、ウイッグの補助を検討されてはいかがでしょうか。

一般質問発言通告要旨

通告者 14番 伊藤邦彦

1. クリオン、プールについて

プールの改修に向け、当初予算に計上いただき、一市民として感謝申し上げたい。

しかし、その多くの市民の願いは、その経緯からして、「改修ではない」ことを当局として、深く認識しているはず…。市の財政逼迫は知り得るが、実施計画に目を通せば、大型公共事業も随所に見られる。

学校体育、社会教育、健康増進などのうえから、市民待望久しい新プールの建設は、いつごろとお考えかお伺いする。

2. 遊休施設の活用について

市内遊休施設、とりわけ統合により、未利用の各学校施設を、お年寄りの入所施設として、活用できないか。

「入所待ちの解消」「家族支援」「雇用の場の創出」などからして、市民の、また広域的な期待は大きいと思える。

3. バイオ発電について

長きにわたり、財源を投入し、修理、修繕、研究を重ね、結局は、復活に至らなかったバイオ発電！！クリオン・にしき園に送電する計画だったが、トラブル続きで、送電できなかった。運転経費も多額にわたったと思われる。

この間に得た教訓、知識、人脈を無とせず、本市の山林整備と再生可能エネルギー開発を目指すとした当初計画に戻り、再びの考えはないのか、お伺いする。

4. 市民歌について

市民に知らしめるために、広報に力を入れるべきと思えるが…

一般質問発言通告要旨

通告者 13番 小林幸悦

1. 公共施設について

- (1) 公共施設等総合管理計画における今後の方針は。
- (2) 老朽化が著しい「市営住宅」「角館東公民館」「技能センター」は。

2. クニマス未来館について

- (1) 将来のクニマス孵化・養殖施設の具体計画は。
- (2) 施設の維持管理経費削減のための方策は。
- (3) 田沢湖再生への具体的な取り組みは。

3. 耕作放棄地について

- (1) 耕作放棄状態の農用地の活用計画は。
- (2) 耕作放棄地解消のための農地中間管理機構の活用は。
- (3) 小規模農家、担い手の見通しが見つからない農家への支援は。

4. 地方創生総合戦略と地域運営体の関わりについて

総合戦略の実践にあたり、民間や特に地域運営体は、どのように位置付けられているのか。

5. 今後の財政計画と事業選択について

- (1) 職員減少に反比例する事務事業量増加の対応は。
- (2) 執行体制の目標3部制から逆転の発想で課制とする考え方は。

一般質問発言通告要旨

通告者 18番 稲田 修

門脇市政に問う

1. 少子化、高齢化対策について
 - (1) 少子化対策について
若者の定住、雇用の場の確保は。
 - (2) 高齢化対策は、第6期福祉計画どおりか。
現実と計画にギャップはないか。

2. 再任用の職員について（過去3年間の再任用職員の数、総支払賃金）
 - (1) 責任について。
 - (2) 命令・指示システムの体制について。
 - (3) メリット、デメリットはどうか。